

9月16日（月）敬老の日に、春光台中学校を会場に「長寿を祝う会」が5年ぶりに行われました。これは春光台社会福祉協議会を中心に、春光台・鷹の巣福祉村の両市民委員会と各町内会が協力しコロナ開けの今年、無事再開されたものです。午前10時から2時間にわたって長寿をお祝いするため、バラエティに富んだ数々のパフォーマンスが披露されました。

トップバッターに本校の吹奏楽部が出演し、管楽器6名による「魔女の宅急便メドレー」を披露、次に部員全員で「変わらないもの」を合唱しました。息の合った優しく美しい歌声に、涙している方々もいるほど、素敵な発表でした。

次に合唱団「虹のつばさ」による合唱が披露されました。メンバーには本校生徒も参加しており、秋にまつわる曲を中心に、美しい歌声で素晴らしい合唱が披露されました。

次に屯田笑福おどりの会による舞踊が披露されました。「七福神」の格好で踊られたり、ひょっとこ踊りなど楽しい舞踊によって、たくさん元気がもらえた気持ちになりました。

最後に「落語」が行われ、旭川市で活動されている狐狸亭道楽さんが「結婚披露宴」にまつわる話を面白おかしく話してくれました。

この祝う会に携わられた方々本当にお疲れ様でした。そして今回参加された皆様が来年も元気にこの祝う会に参加されるのをお待ちしております。



吹奏楽部が会場の後片付けも手伝ってくれました